

平成31年3月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	11	清塚武敏	5日 (火)
2	9	桑原圭美	
3	10	塩川裕紀	
4	12	鈴木一	
5	7	勝又貞夫	
6	2	梅沢道男	
7	4	吉田光利	6日 (水)
8	3	目黒哲也	
9	8	永井拓三	
10	1	大平剛	
11	15	寺口友彦	
12	6	田中せつ子	
13	5	中沢道夫	7日 (木)
14	16	中沢一博	
15	13	岡村雅夫	
16	22	阿部久夫	
17	14	佐藤剛	
計		17名	

【質問方式】（いずれも質問制限時間は答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
3	<p>1 市営八海山麓スキー場の運営について</p>
議席	
10	<p>平成 16 年から市営で運営されている八海山麓スキー場であるが、15 年が経とうとしている。近隣市町が様々な施設運営を民間に移行しているなか、今後の市長の考えを伺う。</p>
<p>塩 川 裕 紀</p> <p>（一問一答方式）</p>	<p>2 P C B（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物処分について</p> <p>P C B（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の処分期間が変圧器・コンデンサー等は平成 34 年 3 月 31 日までと迫っている。国から処分費用の 70%の補助が出るようであるが、大変高額になると思われる。P C Bの処理問題を抱える中小企業の現状と今後の対応の考えを伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
4	<p>1 定住・移住を妨げるものについて</p>
議 席	<p>大雪のたびに大げさな報道がある。有史以来住み続けている雪国は決して住みづらい所ではない。この報道に市長は今後対峙していただきたいが、市長はどう考えるか。</p>
1 2	
鈴 木 一	<p>2 市役所内のパワハラについて</p> <p>人を育てる時、叱責など当たり前のことである。近年パワハラという言葉にすり替わりどこまでがパワハラなのか理解できない。「メダカの学校」みたいな職場でいいのか。市職員に対して怒りたい時もあるが、ガマンしている。どこまでがパワハラなのか伺う。</p> <p>3 森林環境譲与税について</p> <p>前倒しで交付される森林環境譲与税について、色々な使途が考えられているが、肝心の国土調査について謳われていない。市長はどう考えるか。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
5	<p>1 ふるさと納税について問う</p>
議席	<p>(1) この事業の今後の予測と課題は。</p>
7	<p>(2) J T B に支払っている事務委託料の引き下げ交渉はできないか。</p>
<p>勝 又 貞 夫 (一問一答方式)</p>	<p>(3) この寄付金の使い道については。</p>
	<p>2 行政の経営改善について問う</p>
	<p>(1) 経営改善を目的にゆきぐに大和病院に導入された「アメーバ経営」とは何か。</p>
	<p>(2) アメーバ経営による具体的成果と問題点は何か。</p>
	<p>(3) 今後の取組予定はどうか。費用削減に向けて全庁的な取組は可能か。</p>
	<p>3 予算書・決算書の書式の改善について問う</p>
	<p>当市の予算・決算書の書式は周辺自治体のものと違う。当市の書式はわかりづらいとの声がある。行政は市民にわかりやすいことが基本と思うが、改善の予定はないか。</p>

質問 順位	質問 内 容
7	<p>1 市職員の働き方改革について</p>
議席	
4	
吉 田 光 利 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>4月より働き方改革推進関連法が一部施行される。労働者にとっては、長時間労働の是正、労働安全衛生法に定められた「健康管理」の基準により、働きやすく働き甲斐のある職場が期待されている。しかしながら、残業時間の罰則付き上限制限、有給休暇取得確実付与義務等は事業主にとって大きな負担の声もある。公務員は一部を除き今回の関連法は適用外となるが、現実には市職員の働く実態と4月改正の関連法との整合性が重要であり、率先した市の働き方改革の取組が必要と思うが、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 働き方改革推進関連法改正に対し、市の人事体制への影響と対策は。</p> <p>(2) 部門別の一人当たりの残業時間・有給休暇取得の実態と平準化の取組は。</p> <p>(3) 生産性向上に向け、スキルアップの教育が必要と思うが取組は。</p> <p>(4) 人口知能(AI)の導入は近い将来必然となると思うがいかに考えるか。</p>
	<p>2 南魚沼市の製造業支援体制について</p> <p>南魚沼市産業振興ビジョンによる製造業の生産額は320億円、従業員数は4,574人の最重要産業であり、市民の生活、雇用確保等による経済貢献度は大変なものがある。さらなる南魚沼市製造業の発信と成長支援が必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 企業の成長支援のためには、南魚沼市企業立地促進条例に基づく奨励措置での雇用人数基準は人手不足の現状に合わず見直しが必要と思うがどうか。</p> <p>(2) 製造業の成長に向け、市と製造事業主との定期的な情報交換連絡会等を実施すべきと思うがどうか。</p>

質問 順位	質問 内 容
8	産業振興と雇用の創出について
議席	
3	<p>南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策分野の一つに、産業振興と雇用の創出が掲げられている。</p>
目 黒 哲 也 （ 一 問 一 答 方 式 ）	<p>現状、平成30年12月のハローワーク南魚沼の有効求人倍率（原数値）は2.6倍でありながら、法人市民税は、平成27年度と平成29年度を比較すると、およそ62.3%と減収傾向にあり、加えて企業数も減少傾向にある。</p> <p>これは、後継者難や人手不足が主な課題であると考え。この課題を解決するために、ITという新たな切り口として求人や企業紹介、更に地元の企業と大都市圏等で活動する起業家をマッチングするアプリを活用するのは有効的であると考え。</p> <p>そこで産業振興と雇用の創出について、以下の4点を市長に伺う。</p> <p>(1) 法人市民税の減収と企業数の減少傾向の現況についてどう捉えているか。</p> <p>(2) 人手不足解消並びに企業支援のためにアプリの活用はどうか。</p> <p>(3) 地元企業で長年貢献されている市民への永年勤続表彰は、現在、商工会主催で行っているが、今後は市主催で行うのはどうか。</p> <p>(4) 改正出入国管理・難民認定法が4月に施行されるが、外国人労働者の受け入れ体制や整備等々は進められているのか。</p>

質問 順位	質問 内 容
11	<p style="text-align: center;">平成 31 年度施政方針について</p> <p>(1) 市民バス、保育園バス、通学バス、路線バスのより進化した統合をどのように検討したのか。</p> <p>(2) 文化施設、スポーツ施設を複数の団体に指定管理に出し、経費を増やすことの意義をどう検討したのか。</p> <p>(3) 廃棄物対策課内に分室設置と地域づくり協議会の運営体制の見直しの経緯をうかがう。</p> <p>(4) 教育環境をより良いものにするための新たな学区再編の考えをうかがう。</p>
議席	
15	
<p style="text-align: center;">寺 口 友 彦</p> <p style="text-align: center;">(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
12	<p>1 南魚沼市介護人材確保支援事業について</p>
議席	
6	
田 中 せ つ 子 (一問一答方式)	<p>全国で高齢化が進む中、65歳以上のうち介護が必要になる人が、2025年度には約770万人になると、共同通信の集計が発表された。3年前の推計に比べ56万人少ない予測であり、自治体や介護サービス事業所の介護予防等の取組の成果とみられている。しかし、職員不足は更に深刻化し、今後のサービス継続に不安を抱く市民も多い。そこで、今年度から始まった市の介護人材確保緊急支援事業について伺う。</p> <p>(1) 初年度の利用者は3人だけだが、実務者研修も全額補助にしたり、対象を医療施設にも広げたりという更なる拡充は検討するか。</p> <p>(2) 介護サービス事業所にはニーズ調査したが市民への広報はどう進めるか。</p> <p>(3) 介護職の裾野を広げるために短期間のセミナー研修を増やす考えはあるか。</p>
	<p>2 病児保育事業の拡充について</p> <p>中小企業の多い市内では、長く続く不況の中で非正規雇用は増え、年収は上がらず、一家総出で働かなければ暮らせない生活状況がある一方で、少子高齢化と人口減少が進み、医療・介護のみならず製造業、運送業、建設業等、多業種で人手不足が深刻化している。国の幼児教育無償化で子育て支援は一步進むが、働きながらの子育てにはまだまだ課題が多い。市内の病児保育は浦佐にある「花てまり」1か所だけであり、子育て世代だけでなく人手不足に悩む事業所からも切実な声が多い。働き続けられる子育て支援の拡充が市の大きな課題となっている。</p> <p>(1) 利用対象者を市内在住または市内保育施設利用者だけでなく市内在勤まで広げて、今まで以上に利用しやすくすべきだが検討しているか。</p> <p>(2) 市内中心部にある市民病院での病児保育実施を再検討すべきだが、市民ニーズをどう分析し応えていくのか。</p> <p>(3) 幼児教育無償化で3～5歳の病児保育事業も無償化されるようだが、これによる利用状況変化をどう予測し対応していくのか。</p>

質問 順位	質問内容
13	1 地方創生に関わる施策の見直しについて伺う
議席	(1) C C R Cなどの移住・定住政策は見直すべきではないか。
5	(2) グローバル I T パークも成果を上げていると言えるのか。
中 沢 道 夫 (一問一答方式)	(3) 地域資源を最大限生かした産業振興に本気で取り組み、若者の雇用を確保する必要があると思うが、市長の考えを伺う。
	2 統一基準による財務諸表がなぜいまだに出来ないのか伺う 9月議会の一般質問では12月中に公表との答弁だったが、なぜいまだに出来ないのか伺う。

質問 順位	質問 内 容
15	<p>1 長岡市の官製談合事件に当たって</p> <p>(1) 長岡市の官製談合事件が報道されて1か月が経つ。一連の報道を見て庁内で何らかのアクションを起こされたか伺う。</p> <p>(2) 長岡市は予定価格の事前公表を10年ほど前にやめた。南魚沼市は平成28年から公表をやめている。</p>
議席	
13	
岡 村 雅 夫 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>①市はいつから予定価格の事前公表をしていたか、事前公表をすることになった背景を伺う。</p> <p>②何故、予定価格の事前公表をやめたのか理由を伺う。</p> <p>③公表前と後で落札結果に変化があったか。効果を伺う。</p> <p>④官製談合防止には予定価格の事前公表がふさわしいと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) 今回の官製談合事件は職員と業者の問題にとどまらず、政治家の介在が問題視されている。市の対策を伺う。</p> <p>(4) 今後は大幅な公共事業の削減が唱えられている。公契約条例を定めて、入札制度改革を進めている自治体が増えてきている。研究すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>2 新ゴミ処理施設建設予定地について</p> <p>2巡目の説明会も国際大学を残して終了した。</p> <p>(1) 体制を強化し、先進地視察や十分な協議で理解を得ていくと言うが、いつ決断するのかスケジュールを示せ。次年度に送らない要望も出されている。</p> <p>(2) 国際大学の用地内と決めて進めているが、土地集積の経緯を伺う。昭和51年10月20日に準備財団・県・町で国際大学設立に関する基本協定書が交わされている。この書類は保存されていると思うが開示して頂きたい。</p> <p>(3) 準備財団解散後も、出捐確約書、国際大学設立に関する基本協定書、財団法人国際大学設立準備財団寄付行為の効力は引継がれていると考えるが所見を伺う。</p> <p>(4) 学校用地以外の土地利用は難しいと考えるが所見を伺う。</p> <p>(5) 大学に移管後、抵当権設定で17億3,900万円を借り入れ、17億5,500万円の根抵当権設定がされ、抵当権を抹消している。そして、平成28年には根抵当権が解除・放棄され、学校用地の縛りが無ければ、譲渡ができる状態である。</p> <p>①大学の経営状況と土地利用計画を伺う。</p> <p>②平成29年に建設予定地に選定。お膳立てが出来過ぎていると思うが所見を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
16	<p>1 成人式に市内パレードを</p>
議席	
22	<p>平成の時代も終わり 5 月 1 日には即位の礼が行われ、新天皇誕生と共に新しい元号に変わる。</p>
阿 部 久 夫 (一 問 一 答 方 式)	<p>5 月 3 日に行われる成人式を新しい時代の幕開けとして、夏の兼続公祭りと同じように市内のパレードを行い、個性豊かな地域を盛り上げていけば、より思い出の深い成人式だけでなく、地域の活性化に繋がると思う。</p>
	<p>なお、パレードに当たっては、六日町のお六甚句・大和町のサンヨ節・塩沢町のトントン音頭・小中学校生徒による鼓笛隊等を先頭に終点では有志による、「よさこい踊り」、また移動車による販売など、市民上げて成人式のお祝いを行うことができないか見解を伺う。</p>
	<p>2 今後の市の農業政策について</p>
	<p>南魚沼市の基幹産業は言うまでもなく農業と観光である。</p> <p>日本の農業も昨年末 11 か国による環太平洋パートナーシップ協定（T P P 11）及び平成 31 年 2 月 1 日には日 E U 経済連携協定（E P A）が発効された。</p> <p>日本の農業はかつてない市場開放にさらされ、多くの農家が不安を持っている。</p> <p>幸い当市は J A の統合と明るい兆しがあるが、若者に夢のある大胆な施策が必要だと思う。今後の農業の現況を勘案し、どのように取り組まれるか 4 点伺う。</p> <p>(1) 当市の農業情勢について</p> <p>(2) 新規就農者や意欲ある農業者への対応は。</p> <p>(3) 担い手、認定農業者の金融政策の対応は。</p> <p>(4) 中山間地域の維持と農業者の対応は。</p>

質問 順位	質問 内 容
17	1 生活困窮者自立支援の充実について
議席	(1) 現在実施している生活困窮者自立支援の評価は。
14	(2) 法改正（平成30年10月施行）で新たな対応を求められている就労準備支援事業にどう取り組むか。
佐	(3) 生活困窮者を把握した場合の自立相談支援事業の利用を勧める関係機関、関係部署との連携と体制は。
藤	2 財政状況の現状と今後の行政サービスについて
剛	(1) 将来負担軽減のためのこれからの財政運営は。 ①第2次財政計画の計画期間後の市財政はどうなるのか。 ②実質公債費比率、将来負担比率の計画的改善が必要ではないか。
(一問一答方式)	(2) 財政運営の見える化と住民参画は必要ないか。 (3) 業務改善運動推進の考えはないか。